



【図画工作】※図工は、月に1度の課題です。

<学習内容>

◆絵の具でゆめもよう（教科書3・4年下 8～9ページ）

絵の具でいろいろなかき方をためしてみよう。

- (1) 教科書の例を見て、絵の具のいろいろな表し方で、もようをつくろう。
※教科書にのっているような用具で、家にあるものを使って、どんなもようができるかためしてみよう。
※使う用具、水の量や力の入れ方で形や色が変わってくるよ。
※よごれてもよい服そうや場所などを考え、じゅんびしてから始めよう。
- (2) できたもようを見て、気に入ったところやおもしろいと思ったところを家ぞくに伝えてみよう。

動画の解説もあります↓



◇たくさんためして、いろいろな表現を見つけよう。

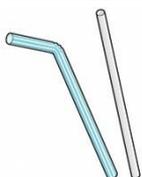
<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

※絵の具の正しい使い方は、学校で改めて指導しますので、できる範囲で取り組んでください。（学校に絵の具セットがある場合など取り組むことが難しい場合は、本課題は必須とはしません。）

※絵の具で周りや服が汚れてしまうことがあります。下に新聞紙などを大きく敷き、保護者の方が一緒にいる時に取り組んでいただくと助かります。

- ・この学習では、身近な材料や用具の使い方を工夫して、いろいろな模様を表すことを楽しむことを大切にしています。
- ・画用紙や白い紙がない場合は、裏紙などを使用しても構いません。
- ・教科書や下のイラストにあるような用具があると、活動が広がります。家にあるもので使ってよいものを用意してあげてください。

参考 教科書62ページにも絵の具を使った表し方が載っています。こちらをご覧ください。



ストロー



ビー玉（転がる物）



空き箱やトレイ



段ボール



網・歯ブラシなど